

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年1月25日

事業所名 モンキー'Sスクール

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			訂正人数は10人に対して2人と定められておりますが、当事業所では5人に対して2人~3人のスタッフが配置
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			来所してからの一連の流れやトイレの一連の流れなど、視覚的にわかりやすいように工夫している。 また注意散漫にならないように用具などを倉庫にいれフロアになにも内容に工夫している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日スタッフで手分けして掃除をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			共有書類を通して、事業所での振り返り等は職員全員行い出勤し、その後さらに朝礼や夕礼を行っている。個々の目標も設定、振り返りを行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等の意見を全スタッフで共有し業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を検討中。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の向上につとめた勉強会、研修を行っている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児に関わっている全てのスタッフで話し合い計画書作成に努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			独自のアセスメントシートを使用し、適切に行っている。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			8つの項目を作成し、一人一人の支援に必要な内容を具体的に定めている。さらに増やす予定。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			計画書作成にスタッフ全員が関わって作成しているため、計画書にそった支援に努めている。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			計画書に沿った内容やプログラムを常に毎日話し合い決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動、工作、学習、SST、余暇活動、創作活動、音楽、性の支援などの活動プログラムがある。
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇ならではの体験や経験できる支援を考え、予定表を考えている。例→プール教室、キャンプ、外泊体験など
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員が全員見れる共有簿に児発管が支援内容や役割分担を記載している。その共有簿を基に朝礼で再確認している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			担当した利用児さんの支援内容や課題、送迎際の連絡事項や様子、ヒヤリ・ハットなどを毎日共有簿に記載し、全職員が書いた内容を振り返る。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の支援の記録を徹底し、その日のうちに管理者が改善点を考える又は、次の日職員と話し合いを行う。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適時計画の見直しを行っています。
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			平日でも一つのプログラムではなく、二つのプログラムで構成しています。
	関係機関や保護者と	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
24		(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		児童発達支援の利用者がすくない。必要に応じて連携する
25		(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			契約が決まった後、学校側に連絡をいれ注意事項などの情報共有を行っている。送迎時に学校側と連携し親御様に報告する等行っている。
26		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				重症心身障害のある利用者さんがいない。
27		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				重症心身障害のある利用者さんがいない。
28		(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				児童発達支援の利用者さんがいない。

の連携関係機関や保護者との連携	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	まだ事例はないが、求められた際は、情報提供を適切に行う。
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	親御様や相談支援事業所からの情報提供となっている。今後、親御様承諾のもと情報共有に努める。
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	まだ事例はないが、求められた際は、情報提供を適切に行う。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要な時は担当医や専門医からご意見やアドバイスをうけるいる
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	昨年度は状況的に交流が難しく、今年も検討が必要
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		児発管が参加しています。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や、変化があった場合、児発管からのご連絡、相談援助の機会を活用している。
保護者への説明責任等	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		昨年は家庭で出来るゲームやネットとの向き合い方等の勉強書類などを配布
	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		児発管から計画の説明を行い、同意を得ている。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		一部の職員だけではなく職員一同、適切な助言と支援を行っていけるように親御様との信頼関係を築くとともに質の向上を図っていく。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	昨年度は状況的に交流が難しく、今年も検討が必要
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		共有簿や児発管・管理者にすぐに連絡し迅速かつ適切に対応している。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		予定表やHPを活用し発信している。

	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			写真の取り扱いなど、同意書を作成し、取り扱いにはきちんと配慮している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			緊急時の場合、電話だけではなく、メールでの伝達手段もあり、適時臨機応変に情報伝達を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		昨年度は状況的に交流が難しく、今年も検討が必要
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルについてはHPに掲載している。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に3回(地震、火災、防犯)行っている。参加できなかった利用児さんには
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に事前に服薬、アレルギー等の情報は確認し共有している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか		○		親御様からの指示に基づき対応している。今後医師からの指示対応の提出をお願いし、対応していく。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の共有簿で上がってくるヒヤリハットを事例集にし、共有している。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			対象者は計画書に記載し親御様の同意を得ている

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年1月 25日

事業所名 モンキー'SスクールⅡ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			訂正人数は10人に対して2人と定められておりますが、当事業所では5人に対して2人~3人のスタッフが配置
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			来所してからの一連の流れやトイレの一連の流れなど、視覚的にわかりやすいように工夫している。階段に手すり配置しました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日スタッフで手分けして掃除をしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			共有書類を通して、事業所での振り返り等は職員全員行い出勤し、その後さらに朝礼や夕礼を行っている。個々の目標も設定、振り返りを行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等の意見を全スタッフで共有し業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を検討中。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の向上につとめた勉強会、研修を行っている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者に関わっている全てのスタッフで話し合い計画書作成に努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			独自のアセスメントシートを使用し。適切に行っている。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			8つの項目を作成し、一人一人の支援に必要な内容を具体的に定めている。さらに増やす予定。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			計画書作成にスタッフ全員が関わって作成しているため、計画書にそった支援に努めている。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			計画書に沿った内容やプログラムを常に毎日話し合い決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動、工作、学習、SST、余暇活動、創作活動、音楽、性の支援などの活動プログラムがある。
	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇ならではの体験や経験できる支援を考え、予定表を考えている。例→プール教室、キャンプ、外泊体験など
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員が全員見れる共有簿に児発管が支援内容や役割分担を記載している。その共有簿を基に朝礼で再確認している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			担当した利用児さんの支援内容や課題、送迎際の連絡事項や様子、ヒヤリ・ハットなどを毎日共有簿に記載し、全職員が書いた内容を振り返る。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の支援の記録を徹底し、その日のうちに管理者が改善点を考える又は、次の日職員と話し合いを行う。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適時計画の見直しを行っています。
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			平日でも一つのプログラムではなく、二つのプログラムで構成しています。
	関係機関や保護者と	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
24		(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		児童発達支援の利用者がすくない。必要に応じて連携する
25		(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			契約が決まった後、学校側に連絡をいれ注意事項などの情報共有を行っている。送迎時に学校側と連携し親御様に報告する等行っている。
26		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				重症心身障害のある利用者さんがいない。
27		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				重症心身障害のある利用者さんがいない。
28		(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				児童発達支援の利用者さんがいない。

この連携関係機関や保護者との連携	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		まだ事例はないが、求められた際は、情報提供を適切に行う。
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		親御様や相談支援事業所からの情報提供となっている。今後、親御様承諾のもと情報共有に努める。
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		まだ事例はないが、求められた際は、情報提供を適切に行う。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要な時は担当医や専門医からご意見やアドバイスをうけるいる
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		昨年度は状況的に交流が難しく、今年も検討が必要
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			児発管が参加しています。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や、変化があった場合、児発管からのご連絡、相談援助の機会を活用している。
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			昨年は家庭で出来るゲームやネットとの向き合い方等の勉強書類などを配布	
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			児発管から計画の説明を行い、同意を得ている。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			一部の職員だけではなく職員一同、適切な助言と支援を行っていただけるように親御様との信頼関係を築くとともに質の向上を図っていく。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		昨年度は状況的に交流が難しく、今年も検討が必要
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			共有簿や児発管・管理者にすぐに連絡し迅速かつ適切に対応している。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			予定表やHPを活用し発信している。

	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			写真の取り扱いなど、同意書を作成し、取り扱いにはきちんと配慮している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			緊急時の場合、電話だけではなく、メールでの伝達手段もあり、適時臨機応変に情報伝達を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		昨年度は状況的に交流が難しく、今年も検討が必要
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルについてはHPに掲載している。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に3回(地震、火災、防犯)行っている。参加できなかった利用児さんには
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に事前に服薬、アレルギー等の情報は確認し共有している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか		○		親御様からの指示に基づき対応している。今後医師からの指示対応の提出をお願いし、対応していく。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の共有簿で上がってくるヒヤリハットを事例集にし、共有している。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			対象者は計画書に記載し親御様の同意を得ている

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2021年1月25日

事業所名 モンキー'Sスクール

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1	0	3		活動スペースを確保するためにプログラムの適切化を今後も図っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1	0	3		利用児さんや適応能力に応じたスタッフ配置を行っています。 4~5人に対して2~3人
	③	生活空間は、本入にイカサマや鋭い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1	0	6		トイレや来所時の一連の流れを絵で掲示している。また、物が沢山あり注意散漫にならないように、物は全て収納スペースに入れるなどの利用児さんに応じた配慮を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	3	0	4		毎朝、掃除等はスタッフで共有して行っている。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	23	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	1	0	0	グループ化で活動内容の具体制が分からない	運動30項目、生活4項目、SST3項目、性教育4項目、学習3項目それぞれが適応能力に応じたプログラムを作成し、利用児さん一人一人の表を利用して毎日支援班や内容を検討し支援し、その内容については自発管理されている
	⑨	児童発達支援の場とは、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	2	11		昨年の状況下で難しかったため、今年も検討が必要
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	0	0	0		
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	3	0	7		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができてきているか	23	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	6	2	5		昨年の状況下で難しかったため、今年も検討が必要
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	0	0	1		今後もスタッフ同士の連携に努め、迅速かつ適切な対応をおこなってまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	0		
	⑱	定期的に支援やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	2	0	2		予定表やホームページに行事予定や活動内容などを記載されていますので、ご覧くださいようお願い致します。
	⑲	個人情報取扱いに十分注意されているか	20	0	0	3		
非常 時の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	0	1	0		全てにおいて実施しています。実施した際は適時ご報告いたします。またホームページにも記載しております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	0	0	0		実施しております。実施した際は適時ご報告いたします。
満足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	1		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0	大満足です。感謝しかない！	現段階に満足することなく、利用児さんと共に成長していけるよう努めます。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様から「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2021年1月25日

事業所名 モンキー´スクールⅡ

回収数 17

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	1	2	もう少し広いか人数が少ない方がいいかな	活動スペースを確保するためにプログラムの適切化を今後も図っていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	4	先生方がそろっているところを見たことがない	適正人員のプラス1人は必ず配置されており、スタッフ一同専門性向上のため、勉強会や研修会を行っています。
	③ 生活空間は、本人にイカワヤツイ構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1	0	2		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1	0	1	詳しく見たことがない	毎朝、掃除等はスタッフで共有して行っている。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	17	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	0	0	0		
	⑦ 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	16	0	0	1		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	1		
	⑨ 児童発達支援の場合は、休所所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	1	8		昨年の状況下で難しかったため、今年も検討が必要
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	0	0	0		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	12	1	2	2		
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	0	0	0		
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	0	0	定期的ではないが行われている	相談援助等をそのつど行っています。また、計画書の際の面談が年に2回、また年に一度、管理者と児発管と親御様で面談を行います
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	5	1	3	この中では難しいのでは？以前はあったが今はないズームなどで集まっているのでは？	昨年の状況下で難しかったため、今年も検討が必要
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	0	0	0		
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0		
	⑱ 定期的に広報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1	1	3	各学校の予定を把握しているのが心配	予定表やホームページに行事予定や活動内容などを記載されていますので、ご覧くださいようお願い致します。各学校の予定についてはその都度親御様からご連絡をもらい把握しています。
非常時の対応	⑲ 個人情報取扱いに十分注意されているか	17	0	0	0		
	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	0	0	3		全てにおいて実施しています。実施した際は適時ご報告いたします。またホームページにも記載しております。
満足度	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	0	0	1		実施しております。実施した際は適時ご報告いたします。
	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	0	0	しんどい日もあるようです	
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0		現段階に満足することなく、利用児さんと共に成長していけるよう努めます。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様から「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」

により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。